



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3176 URL <https://www.sanyo-trading.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 正伸
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	30,919	28.2	1,904	27.1	1,651	△5.4	1,189	8.1
2022年9月期第1四半期	24,127	11.7	1,498	△13.0	1,746	△4.9	1,100	△10.3

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 925百万円(△22.8%) 2022年9月期第1四半期 1,198百万円(△11.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	41.40	41.12
2022年9月期第1四半期	38.35	38.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	68,751	39,527	56.8
2022年9月期	62,859	39,212	61.7

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 39,077百万円 2022年9月期 38,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	19.00	—	21.00	40.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	15.1	6,500	22.2	6,800	7.9	4,500	4.7	156.75

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社の経営計画および業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	29,007,708株	2022年9月期	29,007,708株
2023年9月期1Q	284,161株	2022年9月期	284,120株
2023年9月期1Q	28,723,587株	2022年9月期1Q	28,692,588株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、社会活動に緩やかな回復の兆しがみられる状況になりましたが、急激な為替の乱高下や物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いています。世界経済においても、金融引き締めに伴う欧米景気後退懸念や急激な為替の変動、ウクライナ問題に起因する地政学リスクの継続、中国における新型コロナウイルス感染拡大等、下振れリスクが認められる状況です。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は30,919百万円（前年同四半期比28.2%増）、営業利益は1,904百万円（前年同四半期比27.1%増）、経常利益は1,651百万円（前年同四半期比5.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,189百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

セグメントの業績は以下の通りです。

①化成品

ゴム関連商品では、欧米からの輸入品の仕入価格の高騰、円安などの影響があったものの、自動車向けや家電・情報機器向けなど幅広い産業で合成ゴムや副資材の需要は引き続き堅調に推移しました。

化学品関連商品では、環境配慮型商材をはじめとした新規取扱商材の拡販や新たな商流獲得などで売上は過去最高を記録しましたが、主力商材で円安による仕入価格高騰の影響を受けました。ライフサイエンス関連商品では香料や染料は好調でしたが、主力のフィルム関連ビジネスが苦戦するとともに、一部商品の納期遅延等による物流の影響を受けました。

この結果、化成品の売上高は10,222百万円（前年同四半期比18.4%増）、セグメント利益（営業利益）は587百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品は、半導体・部品不足等に起因する日系自動車メーカーの減産が前期比で幾分緩和し、堅調に推移しました。機械・環境関連商品は、木質バイオマス関連事業で前期から繰り延べとなっていた本体案件を計上しましたが、飼料加工機器関連では本体案件の計上が少なく、業績は低調でした。科学機器関連商品は、バイオ関連機器が利益貢献したものの、納期遅延などの影響を受けました。資源開発関連商品は地熱開発機材が好調を継続し、海洋開発分野では掘削船装備・機材の大型整備案件が利益に貢献しました。

この結果、機械資材の売上高は11,536百万円（前年同四半期比36.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,323百万円（前年同四半期比40.5%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、自動車業界の労働者不足による影響を受けつつも、化成品分野の需要は好調に推移し業績は伸長しました。三洋物産貿易（上海）有限公司は、リチウムイオン電池用関連部材などが好調でしたが、中国国内の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け低調でした。Sanyo Trading Asia Co., Ltd.（タイ）は、一部パーツ安の影響を大きく受けましたが、タイ国内の自動車の生産台数増産等により増収増益となりました。Sun Phoenix Mexico, S.A. de C.V.は、北米の自動車の生産台数増産等により売上は好調でしたが、仕入価格の高騰や販管費の増大により業績は前年同期を下回りました。Sanyo Trading India Private Limitedは、為替差損の影響等で業績は低迷しました。PT.Sanyo Trading Indonesiaは、営業利益は好調に推移したものの、ルピア安の影響を受け業績は落ち込みました。

この結果、売上高は9,043百万円（前年同四半期比28.9%増）、セグメント利益（営業利益）は387百万円（前年同四半期比15.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、現金及び預金の増加や、商品及び製品の増加等によって、前連結会計年度末比4,800百万円増加し、59,933百万円となりました。

固定資産は、当第1四半期連結会計期間に株式を取得し連結子会社化した(株)コスモ・コンピューティングシステムに係るのれんの計上や、投資等により投資その他の資産が増加したため、前連結会計年度末比1,090百万円増加し、8,817百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は68,751百万円（前連結会計年度末比5,891百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、借入金の増加等により、前連結会計年度末比5,508百万円増加し、27,521百万円となりました。

固定負債は、投資有価証券の時価上昇に伴う繰延税金負債の増加等により、前連結会計年度末比68百万円増加し、1,701百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は29,223百万円（前連結会計年度末比5,576百万円の増加）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったものの、為替の変動により為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における純資産は39,527百万円（前連結会計年度末比314百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期連結業績予想につきましては、2022年11月8日発表の通期予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,879,997	8,587,533
受取手形、売掛金及び契約資産	21,968,319	22,184,872
電子記録債権	2,040,364	2,438,337
商品及び製品	23,067,033	24,373,976
仕掛品	1,114	31,610
原材料及び貯蔵品	57,256	152,410
その他	2,178,789	2,247,064
貸倒引当金	△59,788	△82,036
流動資産合計	55,133,087	59,933,769
固定資産		
有形固定資産	3,340,011	3,340,873
無形固定資産		
のれん	342,767	738,264
その他	201,701	181,602
無形固定資産合計	544,468	919,866
投資その他の資産		
投資有価証券	2,701,376	2,973,436
その他	1,170,707	1,612,613
貸倒引当金	△30,142	△29,512
投資その他の資産合計	3,841,940	4,556,537
固定資産合計	7,726,420	8,817,277
資産合計	62,859,507	68,751,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,767,354	13,039,047
短期借入金	5,823,164	11,291,948
1年内返済予定の長期借入金	69,960	64,950
未払法人税等	1,057,555	697,066
引当金	135,716	265,230
その他	2,159,347	2,163,476
流動負債合計	22,013,097	27,521,719
固定負債		
長期借入金	177,087	170,838
引当金	75,478	66,381
退職給付に係る負債	954,926	962,927
その他	426,252	501,740
固定負債合計	1,633,744	1,701,886
負債合計	23,646,842	29,223,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	397,298	397,298
利益剰余金	35,502,368	36,088,250
自己株式	△136,678	△136,724
株主資本合計	36,769,575	37,355,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	796,488	947,297
為替換算調整勘定	1,193,967	774,302
その他の包括利益累計額合計	1,990,456	1,721,599
新株予約権	116,566	116,566
非支配株主持分	336,066	333,862
純資産合計	39,212,665	39,527,440
負債純資産合計	62,859,507	68,751,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
売上高	24,127,625	30,919,659
売上原価	20,005,385	25,828,126
売上総利益	4,122,239	5,091,532
販売費及び一般管理費	2,624,123	3,187,360
営業利益	1,498,116	1,904,172
営業外収益		
受取利息	3,047	2,151
受取配当金	26,115	33,995
為替差益	208,481	—
その他	18,519	39,436
営業外収益合計	256,164	75,583
営業外費用		
支払利息	3,970	28,807
売上債権売却損	1,871	3,245
為替差損	—	288,098
雑損失	2,227	8,289
営業外費用合計	8,069	328,440
経常利益	1,746,211	1,651,315
特別利益		
投資有価証券売却益	—	220,064
特別利益合計	—	220,064
税金等調整前四半期純利益	1,746,211	1,871,379
法人税等	640,120	677,346
四半期純利益	1,106,090	1,194,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,686	4,955
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,100,404	1,189,077

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,106,090	1,194,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112,837	150,643
為替換算調整勘定	205,298	△419,665
その他の包括利益合計	92,460	△269,022
四半期包括利益	1,198,551	925,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,192,961	920,220
非支配株主に係る四半期包括利益	5,589	4,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,633,020	8,443,142	7,013,315	24,089,478	24,807	24,114,285	13,339	24,127,625
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,131,517	190,623	502,061	1,824,202	15,285	1,839,487	△1,839,487	—
計	9,764,537	8,633,765	7,515,377	25,913,680	40,092	25,953,773	△1,826,148	24,127,625
セグメント利益 又は損失(△)	598,370	942,428	336,146	1,876,946	△35,154	1,841,791	△343,675	1,498,116

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額13,339千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△343,675千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△199,092千円、管理会計との為替調整額△60,059千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,222,747	11,536,699	9,043,456	30,802,903	27,876	30,830,780	88,878	30,919,659
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,410,998	212,878	607,468	2,231,345	25,001	2,256,347	△2,256,347	—
計	11,633,746	11,749,577	9,650,925	33,034,249	52,878	33,087,127	△2,167,468	30,919,659
セグメント利益 又は損失(△)	587,653	1,323,765	387,593	2,299,012	△92,783	2,206,228	△302,056	1,904,172

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、以下のとおりです。

(1) 外部顧客への売上高の調整額88,878千円は、管理会計との為替調整額です。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△302,056千円には、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△221,192千円、管理会計との為替調整額△165,563千円が含まれています。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、(株)コスモ・コンピューティングシステムの株式を取得し、連結子会社としたことにより、「その他」セグメントにおいて、のれん438,082千円を計上しています。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	7,325,649	7,428,839	9,532	14,764,020	24,807	-	14,788,827
アジア	942,128	241,416	3,826,763	5,010,307	-	-	5,010,307
北米	265,982	290,814	2,902,932	3,459,728	-	-	3,459,728
その他	99,259	482,070	274,087	855,416	-	-	855,416
顧客との契約から生 じる収益	8,633,020	8,443,142	7,013,315	24,089,478	24,807	-	24,114,285
その他の収益	-	-	-	-	-	13,339	13,339
外部顧客への売上高	8,633,020	8,443,142	7,013,315	24,089,478	24,807	13,339	24,127,625

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	合計
	化成品	機械資材	海外 現地法人	計			
日本	8,568,589	10,593,160	30,302	19,192,051	27,876	-	19,219,927
アジア	1,351,775	369,873	4,229,891	5,951,539	-	-	5,951,539
北米	201,043	414,640	4,425,864	5,041,547	-	-	5,041,547
その他	101,338	159,024	357,398	617,760	-	-	617,760
顧客との契約から生 じる収益	10,222,747	11,536,699	9,043,456	30,802,903	27,876	-	30,830,780
その他の収益	-	-	-	-	-	88,878	88,878
外部顧客への売上高	10,222,747	11,536,699	9,043,456	30,802,903	27,876	88,878	30,919,659

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでいます。

2. 調整額は、管理会計との為替調整額です。

3. 顧客との契約から生じる収益は、販売先の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。